

東日本大震災における応急仮設住宅の建設事例

応急仮設住宅の事例①～プレハブメーカーが建設する例①～

概要

- （社）プレハブ建築協会の傘下の規格建築部会（主にプレハブ供給メーカー）が供給する応急仮設住宅。



応急仮設住宅団地内に設置される談話室

応急仮設住宅の事例②～プレハブメーカーが建設する例②～

概要

○鉄骨構造ユニットタイプの応急仮設住宅。

【(株)三協フロンテアによるユニットハウスの例】



三協フロンテアHPより引用

応急仮設住宅の事例③～ハウスメーカーが建設する例～

概要

○（社）プレハブ建築協会の傘下の住宅部会（主にハウスメーカー）が供給する
応急仮設住宅。



応急仮設住宅の事例④～地元業者を活用した木造住宅の例①～

概要

- 住田町産の木材(主に杉材)を利用した戸建ての応急仮設住宅。
- 町の第三セクター住田住宅産業が施工し、住田町に93戸、陸前高田市に60戸を建設。



応急仮設住宅の事例⑤～地元業者を活用した木造住宅の例②～

概要

○被災地域の復興支援・雇用創出の観点から、各県において、公募で選定した地元業者による、地域材を活用した木造応急仮設住宅の建設を実施。

【(株)昭栄建設等（岩手県盛岡市）】



【(社)福島県建設業協会（福島県福島市）】



【(株)八重樫工務店（宮城県柴田郡）】



応急仮設住宅の事例⑥～輸入住宅資材を活用した例～

概要

- 岩手県大船渡市で、中国資材50戸を活用した応急仮設住宅を建設。（地元業者が施工）。
- その他、宮城県で中国資材224戸、福島県で中国資材350戸及びタイ資材150戸分の輸入住宅資材を活用。

【岩手県大船渡市の取組事例（中国からの住宅資材の活用）】



応急仮設住宅の事例⑦～2～3階建ての例～

概要

○2階建ての例:福島県郡山市において、(株)百年住宅が96戸を建設。

○3階建ての例:宮城県女川町において、(株)坂茂建築設計等が189戸を建設中。

【2階建ての例】

【事業者】百年住宅株式会社

【構造】プレキャストコンクリートパネル造

【地区・戸数】福島県郡山市 96戸

【着工日】5月2日 【完成日】5月30日



【3階建ての例】※建設中

【事業者】(株)坂茂建築設計等

【構造】鋼製コンテナ改造

【地区・戸数】宮城県女川町 189戸

【着工日】7月22日 【完成日】10月中の予定

【その他】中国からの輸入住宅資材を活用

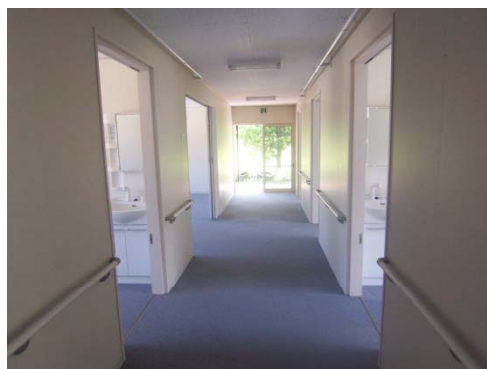


写真は、坂茂建築設計より提供

応急仮設住宅の事例⑧～高齢者等のための福祉仮設住宅の例～

概要

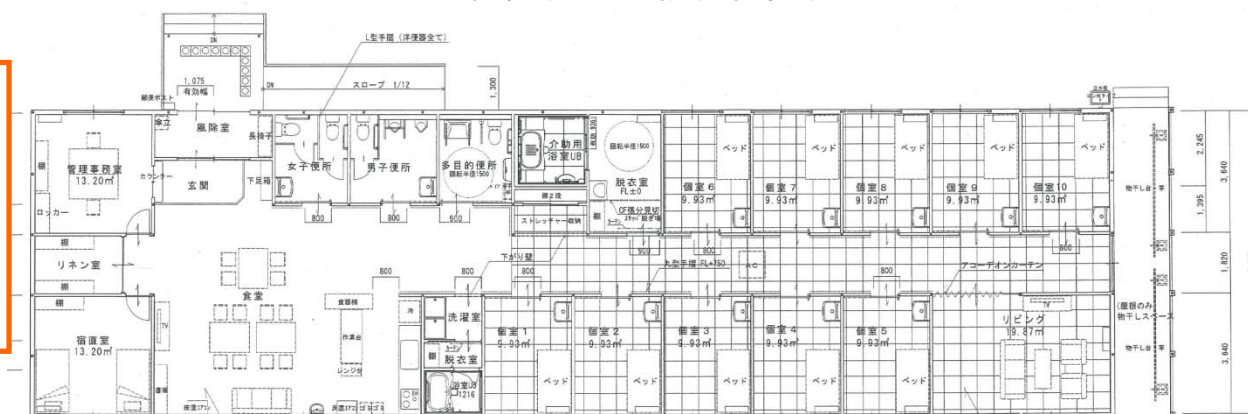
- 各県において、日常生活上配慮を要する複数の高齢者等のための「福祉仮設住宅」を整備。
- 応急仮設住宅の建設では、浴室・トイレ等に手すりを設置するなど、バリアフリー仕様となるようできるだけ配慮。



グループホーム型仮設住宅（福祉仮設住宅）プランの例

<福祉仮設住宅の設置状況>

・岩手県	10カ所	120戸
・宮城県	19カ所	269戸
・福島県	2カ所	18戸
・合計	31カ所	407戸



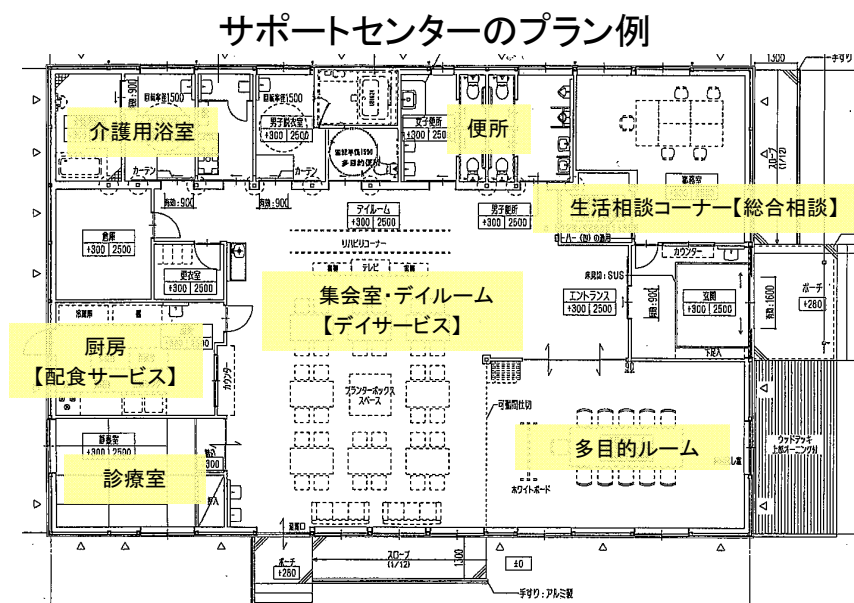
応急仮設住宅の事例⑨～介護等のサポート拠点併設の例～

概要

要介護高齢者や障害者等の安心した日常生活を支援するため、各県において、LSAの配置等の総合相談機能、地域交流、デイサービス機能等を備えたサポート拠点を仮設住宅地に整備する取り組みを実施。

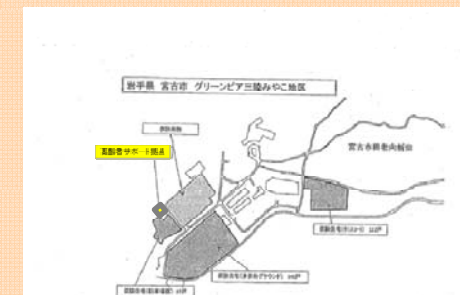
＜サポート拠点の設置状況(9/12時点)＞

・岩手県	16カ所	} 合計 86カ所
・宮城県	45カ所	
・福島県	25カ所	



～シンガポールからの仮設ケアセンターの寄付について～

シンガポール赤十字社に設けられた東日本大震災に対するシンガポール国民の寄付の基金により、岩手県宮古市に建設される仮設ケアセンターが寄贈されることが決定。(7/22公表。10月完成予定)

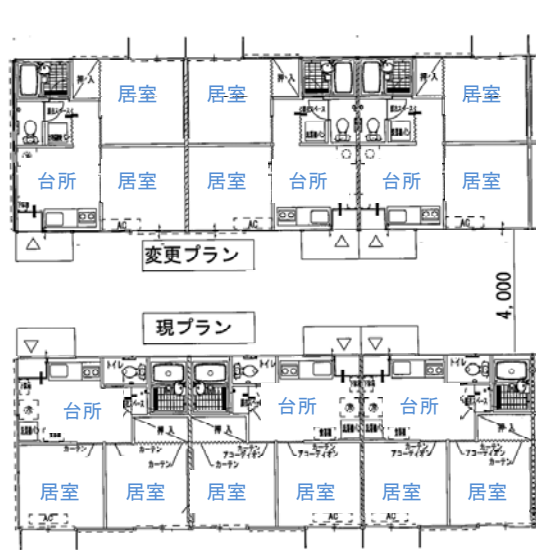
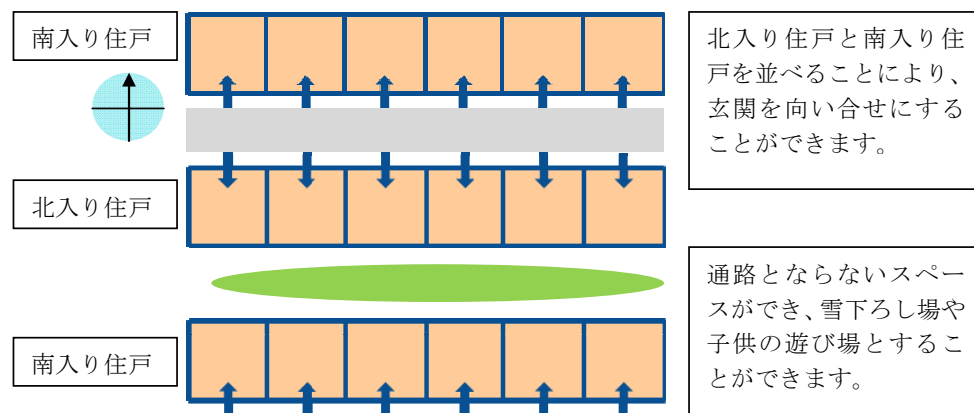


応急仮設住宅の事例⑩～コミュニティに配慮した配置プランの例①～

概要

○コミュニティ配慮等の観点から、玄関を向かい合わせにした住戸プランの応急仮設住宅。岩手県の3団地などで計画。

配置例



<平面図>

南入り住戸は、台所及び居室のうち1室が南に面することとなります。

なお、南入りプランの作成及び玄関を向かい合わせとする配置については、建築家山本理顕氏のご指導をいただいております。

【玄関を向かい合わせにした住戸プランの例】 (岩手県釜石市)



一般ゾーン



デッキによるバリアフリー化されたケアゾーン



応急仮設住宅の事例⑪～コミュニティに配慮した配置プランの例②～

概要

○高齢者世帯や子育て世帯等へのケアサポートに配慮したゾーン計画。地元産材を利用した木造応急仮設住宅40戸を建設。



【高齢者・子育て世帯等に配慮したゾーン計画】
(岩手県遠野市)



応急仮設住宅の事例⑫～仮設店舗など仮設施設を併設する例～

概要

- 応急仮設住宅の同一地区内に物販・飲食店舗などの仮設施設を併設する取組み。
- 市町村からの要請に基づき、（独）中小企業基盤整備機構が仮設施設を整備。

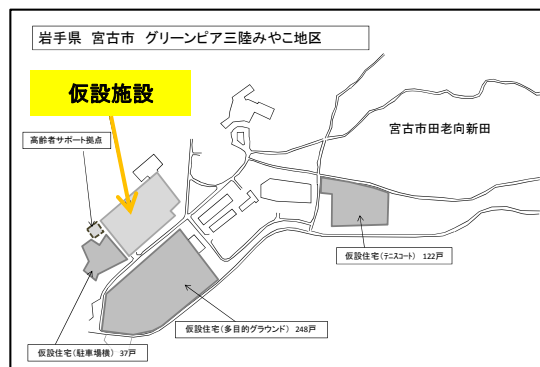
取組地区の事例

【位置】

- ・ 岩手県宮古市田老向新田（グリーンピア三陸みやこ）
- ・ 宮古市市有地内

【仮設住宅の概要】

- ・ 事業主体：岩手県
- ・ 407戸



【仮設施設の概要】

- ・ 事業主体：（独）中小企業基盤整備機構
- ・ 軽量鉄骨造、2階建て
- ・ 食料品等の小売業、理容業、美容業、飲食店等（23店舗）
- ・ 整備事業開始：6月15日、完成：9月6日
- ・ 延床面積：約1500平方メートル



（独）中小企業基盤整備機構HPより引用

※宮古市の要請に基づき、東日本大震災により宮古市田老地区内で被災した中小事業者が入居するため整備するもの

応急仮設住宅の事例⑬～寒さ対策等の追加対応の例～

概要

○各県において、追加工事による外断熱や風除室等の設置、バリアフリー対策として、スロープ等の後施工を実施。

○暑さ対策として、ゴーヤ等の植栽による緑のカーテンの取り組み。

【追加工事による寒さ対策】



【ゴーヤなど緑のカーテンによる暑さ対策】

